令和７年度入学者
募集要項

沖縄県立　小禄高等学校
〒901-0151　沖縄県那覇市鏡原町２２番１号
TEL (098)857-0481　　FAX (098)857-5456

目　次

１．方針　……１

２．募集定員及び通学区域　……１

３．特色選抜　……２～５

４．一般選抜　……５～９

５．第２次募集　……９～１０

６．追検査 ……１１

７．芸術教養コース特別枠（部活動活性化推薦）の実技審査について……１２～１３

入 学 者 選 抜 募 集 要 項

沖縄県教育委員会の定める「令和７年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項」に基づき、下記のとおり生徒を募集する。

１．方針

沖縄県立小禄高等学校入学者の選抜は、高等学校及び中学校教育の正常な発展を期し、公正かつ妥当な方法で、本校の教育を受けるに足る能力と適性等を備えた者を選抜するために、次の方針に基づいて実施する。

（1） 選抜は、本校の校長が学校教育法施行規則第９０条の規定により、中学校長から送付された調査書その他必要な書類、選抜のための学力検査の成績等及び面接の結果を基にして行う。

（2） 選抜は、入学志願者（以下「志願者」という。）が募集定員を超過すると否とにかかわらず行う。

（3） 一般選抜で行う学力検査は、中学校における国語、社会、数学、理科及び英語の５教科について、一般選抜志願者全員に対して行う。なお、英語については、聞き取り検査を実施する。

（4） 学力検査を実施する教科の配点は６０点とし、本校独自の学力検査は実施しない。

（5） 調査書と学力検査等の比重は、**５：５** とする。

（6） 令和７年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項に従って特色選抜を実施する。

（7） 令和７年度沖縄県立高等学校入学者選抜実施要項に従って、合格者が募集定員に満たない場合は第２次募集を実施する。

２．募集定員及び通学区域

募集定員

課　程	学　科	コース	クラス数	募集定員	内特色選抜 最大２５％	内一般選抜
全日制	普通科	普通コース (内１クラスは特進クラス)	7	２８０	（７０）	（２１０）
		情報ビジネスコース	1	４０	（１０）	（３０）
		芸術教養コース	1	４０	（１０）	（３０）
		合　計	9	３６０	（９０）	（２７０）

通学区域

（1）①本校の**普通コース**及び**情報ビジネスコース**の通学区域は、沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第２条関係別表第１及び別表第２のとおりとする。

(別表第１)

西原町　浦添市　那覇市　豊見城市

(別表第２)

伊平屋村　伊是名村　伊江村　本部町（水納中学校区域のみ）　うるま市（津堅中学校区域のみ） 南城市（久高中学校区域のみ）　南大東村　北大東村　座間味村　渡嘉敷村　粟国村　渡名喜村 多良間村　　竹富町　　与那国町

②本校の**芸術教養コース**の通学区域は、沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第２条のとおり県全域とする。

（2） 上記通学区域以外から定員の１０％以内まで入学することが出来る（沖縄県立高等学校通学区域に関する規則第３条２項）。

（3） 上記（2）にかかわらず、保護者の住所が入学の日までに上記（1）の学区に移転することが確実であると認められる者は、本校に入学することができる（沖縄県立高等学校通学区域に関する規則第４条１項）。この規定により入学しようとする者は、通学区域に関する規則第４条２項に従い、関係書類を出身中学校長を経て本校校長に提出しなければならない。

３．特色選抜

（1）出願資格

中学校又はこれに準ずる学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程（以下、「中学校等」という。）を募集年度の３月に卒業又は修了（以下「卒業」という。）見込みの者のうち、次のア、イ及びウ（ウは特別枠5%のみ）に該当するもの

ア．沖縄県内の中学校等に籍をおく者

イ．本校が「入学者選抜における求める生徒像・選抜方法」（別紙参照）で定める「求める生徒像」及び「選抜において重視する観点」を理解し、特色選抜出願要件等を満たす者

ウ．本校の指定する部活動において、部活動活性化に努める意志が明確である者

（2）募集コース及び募集人員

募集コース：すべてのコース

募集人員：募集定員の２５%以内（特別枠５%を含む）

（3）出願の要件

次の ア．の要件を満たし、かつ イ．の要件を満たしている者とする。

ア．中学校等における諸活動の実績等について、志願者自ら表現し説明ができること。なお、当該活動の実績については、証明する資料（賞状・認定証等）の写し〔Ａ４版：１種類のみ〕を提出すること。（証明する資料の詳細については下記の四角枠 ※１で確認）

※１　実績を証明する資料について
１つの実績等において次の①から③をＡ４版１枚に収めて提出すること。片面で足りない場合は、両面印刷も可とする。
① 説明したい実績について証明する資料（賞状、認定証、新聞、記録表等）の写し
② 主催のわかる書類（大会規模等で審査基準が異なるため）
③ 団体競技の場合は、登録メンバーであることを証明する資料の写し
（メンバー票の本人の名前にマーカーまたは〇で囲む等、印を付けること。）

イ．次の評定平均値を満たしている者とする。

コース	特色選抜（定員の２０%）	特別枠（部活動活性化・定員の５%）
普通	評定平均値が3．２以上の者	評定平均値が2.８以上の者
情報ビジネス	評定平均値が3．２以上の者	評定平均値が2.８以上の者
芸術教養	評定平均値が3．２以上の者 但し、音楽を専攻する者については音楽の評定平均値が4.０以上、美術を専攻する者については美術の評定平均値が4.０以上とする。	評定平均値が2.８以上の者 但し、音楽を専攻する者については音楽の評定平均値が4.０以上、美術を専攻する者については美術の評定平均値が4.０以上とする。

※評定平均値算出方法

評定平均値＝（１年～３年までのすべての教科の評定の合計）÷２７（小数第２位を四捨五入）

（4）特別枠（部活動活性化）

特別枠（部活動活性化）は、部活動を通じて学校の活性化に努める者に対する募集である。

ア．次に挙げる本校の部活動と同じ活動において、具体的に表現し説明ができること。

男子バスケットボール　女子バスケットボール　女子バレーボール　野球
男子剣道　女子剣道　男子空手道　女子空手道
※芸術教養コースについては、上の種目に「吹奏楽・合唱・美術・書道」を加える。

イ．志願者には実技審査を行う。芸術教養コースの「吹奏楽・合唱・美術・書道」については、事前に指定した課題の提出あり。（課題内容は募集要項P12・P13 を参照）

ウ．出願の要件は上記（３）のア．及びイ．による。

エ．出願の際、本校指定「小禄特別枠第１号様式」を志願者が自書の上、提出すること。特色選抜志願者名簿(特色第２号様式)の備考蘭に「部活動活性化（〇〇〇部）」と明記すること。

（5）出願期間

令和７年２月３日（月）、２月４日（火）午前９時～午後４時

郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

なお、Web 出願システムにおける志願情報の登録は、１月２０日（月）から１月３０日（木）１２時までとする

（6）出願手続

ア．**志願者**は、次の書類に入学考査料を添えて中学校等の校長に提出しなければならない。

また、志願者は、沖縄県立学校入学者選抜 Web 出願システム（以下、「Web 出願システム」という。）において、志願に必要な情報（以下、「志願情報」という。）を登録する。ただし、特色選抜のみの出願は認めない。

	【特色選抜】出願書類	書類作成上の注意点
①	特色選抜入学志願書 （特色第１号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。 「志望課程等」の課程、学科名、コース名 欄については、「全日」を選択（〇で囲む）し、「普通科」と記入、コース名の記入は、下記（※表１）の記入例を参考に記入すること。一般選抜で本校を受験する場合「一般選抜志願先高等学校」の蘭も同様に記入する。
②	写真票（特色第３号様式）	出願の日前６か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5ｃｍ×横3.5ｃｍ程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
③	住民票謄本等 （ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰ掲載なし、本人・保護者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可）	沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住するもので、普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもの。 住民票謄本等は出願の日前３か月以内に発行されたものとする。
④	確約及び証明書 （第５号様式）	次のａ．及びｂ．の者のみ（「２．募集定員及び通学区域）を参照） ａ．通学区域に関する規則第２条第１項ただし書の規定により同規則別表第２に掲げる地域から出願する者 ｂ．宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑤	入学考査料等減免申請書 （第 10 号様式）	特色選抜に係る入学考査料については、沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則 11 号）に定める入学考査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする。
⑥	諸活動の実績を証明する資料 ※Web 出願システムで提出	（３）出願の要件のア．で表現し説明するための資料となる 証明する資料（賞状、認定証等）の写し（Ａ４版）は、特に優れていると思われるもの１種類のみを提出すること。（証明する資料の詳細については上記「（３）出願の要件」で確認すること） ※1 Web 出願システムでアップロードすることで提出となります。 ※2 諸活動の実績を証明する資料が無い場合は、**別紙様式**(小禄特色選抜第２号様式)に「証明する実績がない」ことがわかるように記載し提出してください。
⑦	特別枠志願に係る書類 （小禄特別枠第１号様式） ※Web 出願システムで提出	特別枠（部活動活性化）に出願する者のみとする。志願者本人が自筆で記入すること。 ※ Web 出願システムの「資格及び大会実績証明書等」でアップロードすることで提出してください。
⑧	自己申告書（第 13 号様式）	欠席または出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められるものは提出できる。

イ．**中学校等の校長**は、志願者に係る次の書類に入学考査料を添えて出願期間内に一括して提出するものとする。

書類の作成は**令和７年度 沖縄県立学校入学者選抜実施要項**を参照の上作成すること。

	【特色選抜】出願書類	書類作成上の注意点
①	特色選抜入学志願書 （特色第１号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。 「志望課程等」の課程、学科名、コース名 欄については、「全日」を選択（〇で囲む）し、「普通科」と記入、コース名の記入は、下記（※表１）の記入例を参考に記入すること。一般選抜で本校を受験する場合「一般選抜志願先高等学校」の蘭も同様に記入する。

②	特色選抜志願者名簿 （特色第２号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者のみ記載する。ただし、Web 出願システムで志願情報を登録した者については、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。コース別にそれぞれ作成する。 芸術教養コースの場合、備考欄に専攻希望（音楽・美術・書道）を記入する。特別枠（部活動活性化）で志願する場合は「部活動活性化（○○部）」と明記する。学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入すること。特に備考がない場合は斜線をひく。
③	写真票（特色第３号様式）	出願の日前６か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5ｃｍ×横3.5ｃｍ程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
④	調査書（第４号様式）	志望学科の欄は下記（※表１）の記入方法で記入する。なお、成績や「⑤出席の記録」の３年の欄については、令和６年 12 月 28 日現在で記入すること。
⑤	住民票謄本等 （ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰ掲載なし、本人・保護者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可）	沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住するもので、普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもの。 住民票謄本等は出願の日前３か月以内に発行されたものとする。
⑥	確約及び証明書 （第５号様式）	次のａ．及びｂ．の者のみ（「２．募集定員及び通学区域」を参照） ａ．通学区域に関する規則第２条第１項ただし書の規定により同規則別表第２に掲げる地域から出願する者 ｂ．宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑦	入学考査料等減免申請書 （第 10 号様式）	特色選抜に係る入学考査料については、沖縄県立高等学校等の授業料等の徴収に関する条例施行規則（昭和 47 年沖縄県教育委員会規則 11 号）に定める入学考査料等減免申請書を提出したときは、免除するものとする。
⑧	諸活動の実績を証明する資料 ※Web 出願システムで提出	３）出願の要件のア．で表現し説明するための資料となる 証明する資料（賞状、認定証等）の写し（Ａ４版）は、特に優れていると思われるもの１種類のみを提出すること。（証明する資料の詳細については上記「（３）出願の要件」で確認すること） ※1 Web 出願システムでアップロードすることで提出となります。 ※2 諸活動の実績を証明する資料が無い場合は、**別紙様式**(小禄特色選抜第２号様式)に「証明する実績がない」ことがわかるように記載し提出してください。
⑨	特別枠志願に係る書類 （小禄特別枠第１号様式） ※Web 出願システムで提出	特別枠（部活動活性化）に出願する者のみとする。志願者本人が自筆で記入すること。 ※ Web 出願システムの「資格及び大会実績証明書等」でアップロードすることで提出してください。
⑩	自己申告書（第 13 号様式）	欠席または出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められるものは提出できる。

※表１　希望コースの記入方法

特色選抜志願書（特色第１号様式）・特色選抜志願者名簿（特色第２号様式）・調査書（第４号様式）

コース名（専攻）	記入例
１．普通コース	普通
２．情報ビジネスコース	情ビ　または　情報ビジネス
３．芸術教養コース（音楽専攻）	芸教（音）　または　芸術教養（音楽）
４．芸術教養コース（美術専攻）	芸教（美）　または　芸術教養（美術）
５．芸術教養コース（書道専攻）	芸教（書）　または　芸術教養（書道）

（注意）Web 出願システムでは、希望コース記入方法にある芸術教養コースの芸術専攻（音楽、美術、書道）を区別して入力することが出来ません。芸術教養コースを志願する場合は「芸術教養コース」のみ選択してください。「特色選抜志願者名簿(特色第２号様式)」「調査書(第４号様式)」で、芸術専攻（音、美、書）を確認します。

（７）選抜の方法

ア．選抜項目として定めた学力検査の成績、面接の結果、諸実技・実演検査、以下に示す諸書類の結果等に基づき、総合的に判断し特色選抜を行う。ただし、学力検査の成績については、一般選抜の学力検査（各教科配点 60 点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点 50 点）を成績として取扱うものとする。

〇出身中学校等の校長から提出された特色選抜志願書（特色第１号様式）、調査書（第４号様式）、「諸活動の実績を証明する資料」。

〇面接の結果。
〇特別枠（部活動活性化）における諸実技検査の評価結果。

イ．面接の実施

面接は、提出された特色選抜入学志願書（特色第１号様式）及び調査書（第４号様式）に記載された事項について実施する。

（ア）期　　日：令和７年２月１４日（金）午後１時１５分集合　午後１時４５分開始

（イ）集合場所：本校体育館（２Ｆ）

（ウ）受検生は各中学校指定の制服を着用し、上着の左胸部に名札をつけること。

○　○　中学校 受　検　番　号 氏　　名

※タテ５ｃｍ･横:８ｃｍ

ウ．特別枠（部活動活性化）志願者は、実技検査実施場所で面接もあわせて行う。

エ．特別枠（部活動活性化）の実技検査に必要なものは各自で準備すること。場所・時間に関しては面接集合時に連絡する。不明な点がありましたら、中学校を通して本校へ連絡して下さい。

（８）特色選抜結果の通知について

一般選抜の学力検査（各教科配点 60 点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点 50 点）を成績として取扱うことから、一般選抜の合格発表と同時に行う。

（９）合格発表

令和７年３月１８日（火）午前９時に発表（掲示）する。同時に、本校ホームページにも掲載する。

(10) 合格者オリエンテーション

合格者オリエンテーションを令和７年３月２６日（水）午前１０時から行う。対象者は合格者（追検査合格者を含む）と保護者とする。

４．一般選抜

（１）出願資格

ア．中学校等を令和７年３月に卒業見込みの者

イ．中学校等を卒業した者（以下「過年度卒業者」という。）

ウ．学校教育法施行規則第９５条各号のいずれかに該当する者

（２）出願期間

令和７年２月３日（月）、２月４日（火）午前９時～午後４時

郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

なお、Web 出願システムにおける志願情報の登録は、１月２０日（月）から１月３０日（木）１２時までとする

（３）出願手続

ア．**志願者**は、次の書類に入学考査料を添えて中学校等の校長に提出しなければならない。また、志願者は、Web 出願システムにおいて、志願情報を登録する。

	【一般選抜】出願書類	書類作成上の注意点
①	入学志願書（第１号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。 志望蘭の第１志望と第２志望について、下記 ウ．に従うこと。 希望コースの記入方法は下記（表１）を参照して下さい。
②	写真票（第３号様式）	出願の日前６か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5ｃｍ×横3.5ｃｍ程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
③	住民票謄本等 （ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰ掲載なし、本人・保護	次のａ．及びｂ．の者のみとする。 ａ．沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する

	者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可)	者で、第２希望コースも含め普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもの。 ｂ．志願者が県外の中学校出身者で、保護者が県内に在住する者。ただし、第２希望コースも含め普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもののみ。 住民票謄本等は出願の日前３か月以内に発行されたものとする。
④	確約及び証明書 （第５号様式）	次のａ．及びｂ．の者のみとする。（「２．募集定員及び通学区域）を参照） ａ．通学区域に関する規則第２条第１項ただし書の規定により同規則別表第２に掲げる地域から出願する者 ｂ．宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑤	入学考査料	一人２，２００円
⑥	健康診断書（第 12 号様式）	過年度卒業者のみ。募集年度の１月以降に発行されたもの。
⑦	自己申告書（第 13 号様式）	欠席または出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められるものは提出できる。
⑧	学区外高等学校入学志願書 （別記様式(第４条関係)）	学区外に住所を有する保護者が入学の日までに確実に学区内へ移転する場合に提出する。（沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第４条第２項）
⑨	県外からの入学志願のための許可願(第 15 号様式）等	下記　イ．に該当する場合提出する。

イ．**中学校等の校長**は、志願者に係る次の書類に入学考査料を添えて出願期間内に一括して提出するものとする。
書類の作成は**令和７年度 沖縄県立学校入学者選抜実施要項**を参照の上作成すること。

	【一般選抜】出願書類	書類作成上の注意点
①	入学志願書（第１号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者に限る。 第１希望と第２希望について、下記ア．に従うこと。 希望コースの記入方法は下記（表１）を参照して下さい。 志願者本人が直筆で記入すること。
②	入学志願者名簿 （第２号様式）	Web 出願システムが利用できず、志願情報を登録できない者のみ記載する。ただし、Web 出願システムで志願情報を登録した者については、Web 出願システムから出力される名簿を添えて提出するものとする。コース別にそれぞれ作成する。 第一志望が芸術教養コースの場合、備考欄に専攻希望（音楽・美術・書道）を記入する。「第二志望（第２希望コース）」の欄は第２希望コースがあれば記入する。第１希望と第２希望について、下記ア．に従うこと。学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入すること。希望がなければ斜線を引く。
③	写真票（第３号様式）	出願の日前６か月以内に撮影したものとし、カラー、白黒いずれも可とする。上半身、脱帽、縦4.5ｃｍ×横3.5ｃｍ程度のものとし、裏面に氏名及び生年月日を記入する。
④	調査書（第４号様式）	志望学科の欄は下記（※表１）の記入方法で記入する。なお、成績や「⑤出席の記録」の３年の欄については、令和６年 12 月 28 日現在で記入すること。
⑤	住民票謄本等 （ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰ掲載なし、本人・保護者の氏名・続柄記載あり。必要事項の記載があれば、住民票抄本・住民票記載事項証明書でも可)	次のａ．及びｂ．の者のみとする。 ａ．沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、第２希望コースも含め普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもの。 ｂ．志願者が県外の中学校出身者で、保護者が県内に在住する者。ただし、第２希望コースも含め普通コース及び情報ビジネスコースを希望するもののみ。 住民票謄本等は出願の日前３か月以内に発行されたものとする。
⑥	確約及び証明書 （第５号様式）	次のａ．及びｂ．の者のみとする。（「２．募集定員及び通学区域）を参照） ａ．通学区域に関する規則第２条第１項ただし書の規定により同規則別表第２に掲げる地域から出願する者 ｂ．宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑦	入学考査料	一人２，２００円。
⑧	健康診断書（第 12 号様式）	過年度卒業者のみ。募集年度の１月以降に発行されたもの。
⑨	自己申告書（第 13 号様式）	欠席または出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められるものは提出できる。
⑩	学区外高等学校入学志願書 （別記様式(第４条関係)）	学区外に住所を有する保護者が入学の日までに確実に学区内へ移転する場合に提出する。（沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第４条第２項）
⑪	県外からの入学志願のための許可願(第 15 号様式）等	下記　エ．に該当する場合提出する。

ウ．入学志願書（第１号様式）の志望欄について

（ア）「第一志望」は「全日」を選択し、「普通（科）」と記入する。「第二志望」は「全日」を選択しなくてもよい。（同じく「普通（科）」を記入する必要なし）

（イ）「第２希望コース」について

第２希望コースがある場合、下記の表に従い記入する。第２希望コースがなければ、「第２希望コース」欄に斜線を引く。

第１希望コース	希望可能な第２希望コース
普通コース	情報ビジネスコース
	芸術教養コース
情報ビジネスコース	普通コース
	芸術教養コース
芸術教養コース	普通コース
	情報ビジネスコース

※希望コースの記入方法は、下記＜※表１＞に従って下さい。

エ．志願者が県外の中学校等の出身者で保護者が県外に居住している場合は、次の手続きによる。

（ア）保護者が志願者と共に沖縄県内に居住するときは、県外からの入学志願のための許可願（第15号様式）を令和７年１月２０日（月）までに教育長に提出し、許可を受けなければならない。

（イ）保護者が沖縄県内に居住しないときは、前記（ア）の許可願と共に県外からの入学志願のための許可願に関する身元引受書（誓約書）及び身元引受人の住民票を提出しなければならない。

（ウ）前記（ア）の許可願、入学志願書（第１号様式）、調査書（第４号様式）及び本校学校長が必要と認める書類に入学考査料を添えて本校校長に提出しなければならない。

オ．学校教育法施行規則第９５条各号のいずれかに該当する志願者は、入学志願書（第１号様式）と住民票謄本等に入学考査料を添えて提出しなければならない。

※表１　希望コースの記入方法

入学志願書（第１号様式）・入学志願者名簿（第２号様式）・調査書（第４号様式）

希望コース（専攻）	記入方法
１．普通コース	普通
２．情報ビジネスコース	情ビ　または　情報ビジネス
３．芸術教養コース（音楽専攻）	芸教（音）　または　芸術教養（音楽）
４．芸術教養コース（美術専攻）	芸教（美）　または　芸術教養（美術）
５．芸術教養コース（書道専攻）	芸教（書）　または　芸術教養（書道）

（注意）Web 出願システムでは、希望コース記入方法にある芸術教養コースの芸術専攻（音楽、美術、書道）を区別して入力することが出来ません。芸術教養コースを志願する場合は「芸術教養コース」のみ選択してください。「入学志願者名簿(第２号様式)」「調査書(第４号様式)」で、芸術専攻（音、美、書）を確認します。

（４）志願変更及び手続き

ア．志願変更

（ア）入学志願締切りの結果、志願者が定員を超えたコースに出願した者のうちで、出身中学校等の校長及び本校校長が適当と認めた者は、志願変更を行うことができる。

（イ）本校におけるコースの変更も志願変更手続きに準じて行うものとする。ただし、第２希望の変更については、志願状況に関わらず、取消や追加も含めて志願変更ができる。

（ウ）志願変更の可能な人員は、志願者数が募集定員を下回らない範囲内とする。

(エ) 志願変更希望者が、志願変更可能な人員を上回る場合は、公正な抽選によって志願変更を認める。抽選の日時は、後日(HP、FAX 等にて)通知する。

イ．志願変更の日程

志願変更申出	令和７年　２月　７日（金）	午前９時～午後４時
	２月１０日（月）	午前９時～午後４時

取下げ・再出願受付	令和７年　２月１７日（月）	午前９時～午後４時
	２月１８日（火）	午前９時～午後４時

ウ．志願変更する者は、志願変更願（第６号様式）に必要な事項を記入し、出身中学校等の校長を経て所定の期間内に提出すること。

エ．出身中学校等の校長は、志願変更を認められた者の入学志願書類の返却を受けるものとする。この場合、入学考査料は返却しない。なお、郵送による志願変更の受付及び入学志願書類の返却は、原則として行わない。

オ．志願変更をする者は、返却された入学志願書に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、令和７年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項の「３一般選抜　（５）出願手続」に準じて入学志願書類を所定の期間内に志願変更先高等学校長に提出する。

※ 再出願の提出書類

(ア) 志願変更願（第６号様式）の写し
(イ) 入学志願書（第１号様式）（志望・受検場の※印の欄に変更すべき事項を記入）
(ウ) 入学志願者名簿（第２号様式）
(エ) 写真票（第３号様式）
(オ) 調査書（第４号様式）（志望学科※印の欄に変更すべき事項を記入）
(カ) 住民票謄本等（出願の日前３か月以内に発行されたもの）
(キ) 確約及び証明書（第５号様式、各離島の中学校からの志願者のみ提出）
(ク) 健康診断書（第 12 号様式、令和７年１月以降の診断書を過年度卒業者のみ提出）
(ケ) 自己申告書（第 13 号様式）
(コ) 学区外高等学校入学志願書（別記様式(第４条関係)）
(サ) 県外からの入学志願のための許可願い（第 15 号様式、令和７年１月 20 日（木）までに本県教育長に提出し、許可を受けた県外出願者のみ提出）

カ．第２希望のみの変更については、本校校長に志願変更願（第６号様式）で申し出るだけでよい。

（５）選抜の方法

令和７年度沖縄県立学校入学者選抜実施要項の「３　一般選抜（７）選抜の方法」及び本校の定める選抜規程による。

（６）学力検査・面接・受検の心得

ア．学力検査の場所

沖縄県立小禄高等学校、委託検査場及び出張検査場

イ．学力検査の期日及び時間割等

時限 ＼ 月日	集合時間・場所	第１時限	第２時限		第３時限
		10:00～10:50（５０分）	11:15～12:05（５０分）	昼食 55 分	13:15～14:05（５０分）
第１日目 ３月　４日（火）	９：１５ 本校体育館	国　語	理　科		英　語
第２日目 ３月　５日（水）	９：３０ 各検査場前	社　会	数　学		13:00～ 面　接

※本校独自の付加問題はない。

ウ．受検の心得　　受検生は下記の事項「受検の心得」を厳守すること。

（ア）学力検査まで

・体調不良がある場合は、別室受検になりますので早めに引率教諭に連絡してください。受検当日の８：３０までにお願いします。

・受検会場の下見は前日３／３(月)の１５：３０～１７：００を予定しています。検査場の中には入れませんが、検査場内を廊下から確認することができます。

（イ）学力検査当日の注意事項

１．当日の持ち物について

・受検生は受検当日、中学校指定の制服を着用し、右記の様式の白地の名札を左胸につけてください。

○○中学校 受験番号 氏　　名

※縦５㎝ 横８㎝
※受験番号は算用数字を用いる

・弁当

・水筒

２．全体会・諸注意

・１日目の全体集合は９：１５、集合場所は体育館（２階）です。

・集合場所の体育館は８時３０分頃開場予定です。

３．体調管理

・体調が悪い受検生は、集合時に申し出ること。

・トイレは、必ず休み時間に行っておく。

４．受検時の注意

（１）学力検査会場に持ち込めるもの（カバン等は控え室におく）

①HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルも可。鉛筆は和歌・格言等が印刷されているものは不可。)

②プラスティック製の消しゴム

③定規（三角定規は可。ただし、分度器及び分度器機能付き定規、三角スケールは不可。）

④コンパス（分度器機能付きは不可）

（２）上の（１）のほかに、机の上に置くことができるもの

①鉛筆キャップ

②鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）

③時計（ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアラブル端末等も不可。）

④眼鏡、ハンカチ（無地のタオルを含む）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）

（３）携帯電話は電源を切り、カバンの中に入れておく。ポケットなどには入れて持ってはいけない。
※ハンカチは無地のみ可。文字（アルファベットやひらがなど）の表示の無いもののみ認める。

（４）学力検査会場に入室したら、机の受検番号を確認して着席すること。

（５）受検の際は、すべて学力検査監督者の指示に従うこと。

（６）学力検査監督者の「始め」、「止め」の合図を十分に守ること。

（７）早くできても、「終わり」の合図があるまでは離席しないこと。

（８）解答が早く済んでも、「退場」の合図があるまでは離席しないこと。

（９）書き損じた場合は、消しゴムでしっかり消してからそれぞれの欄にはっきりと書くこと。

(10) 学力検査中は、質問を許さない。ただし、印刷に不明瞭なものがある場合は、無言で挙手すること。

(11) 学力検査中にトイレに行きたくなった、又は健康状態に異常が生じた場合は、無言で挙手すること。

（７）合格発表

ア．令和７年３月１８日（火）午前９時に本校において受検番号のみ発表（掲示）する。同時に本校ホームページにも掲載する。

イ．合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

（８）合格者オリエンテーション

合格者オリエンテーションを令和７年３月２６日（水）午前１０時から行う。対象者は合格者（特色選抜合格者、追検査合格者を含む）と保護者とする。

５．第２次募集　合格者が募集定員に満たないコースにおいて、第２次募集を行う。

（１）出願資格

学力検査を受検し、県立高等学校に合格しなかった者。

（２）出願期間

令和７年　３月１９日（水）午前９時～午後４時
　　３月２１日（金）午前９時～午後４時

郵送の場合もこの期限までに必着のこと。

本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りでない。

（３）出願手続

ア．一般選抜の学力検査を受検した者は次の手続による。

（ア）　志願者は、当該年度に第２次募集を実施する高等学校の１校・１課程・１学科・１コースに出願することができる。ただし、当該年度の学力検査を受検した高等学校の同一学科・コースに出願することはできない。

（イ）　志願者は、次の書類に入学考査料を添えて本校校長に提出しなければならない。この場合、入学考査料は減額する。出身中学校等の校長は、志願者に係る次の書類に入学考査料（一人１，１００円）を添えて本校校長に出願期間内に一括して提出するものとする。

	【第２次募集】出願書類	書類作成上の注意点
①	第２次募集入学志願書（第８号様式）	「第一志望」の欄の記入については、「４　一般選抜」の書類作成上の注意点を参照。
②	第２次募集志願者名簿（第９号様式）	コース別にそれぞれ作成する。 芸術教養コースの場合、備考欄に専攻希望（音楽・美術・書道）を記入する。備考が特になければ斜線を引く。
③	調査書（第４号様式）	内容は一般選抜で提出したものと同じもの。 志望学科の欄の記入については、「４　一般選抜」の書類作成上の注意点を参照。
④	確約及び証明書（第５号様式）	次のａ．及びｂ．の者のみとする。 ａ．通学区域に関する規則第２条第１項ただし書の規定により同規則別表第２に掲げる地域から出願する者 ｂ．宮古島、伊良部島、石垣島又は久米島の各地域から出願する者
⑤	入学考査料減免申請書（第１０号様式）	領収書を添付する必要はない。

（ウ）　本校校長は、志願者が学力検査を受検した高等学校の校長に、次の書類の提供を求める。

① 学力検査成績証明書（第 14 号様式）
② 写真票（第３号様式）
③ 健康診断書（一般入学で提出のあった者に限る。）
④ その他の書類（自己申告書、県外からの入学志願のための許可願い、配慮願い等。一般選抜で提出のあった者に限る。）

（４）志願変更及び手続き

ア．志願者は、入学志願締め切りの後、志願した高等学校、学科又はコースを変更（以下「２次志願変更」という。）することができる。

イ．入学志願書取り下げ及び再出願の受付は、令和７年３月２４日（月）の午前９時から午後４時までとする。

ウ．第２次募集志願変更をする者は、第２次募集志願変更願（第 11 号様式）に必要事項を記入し、出身中学校等の校長に提出すること。

エ．出身中学校等の校長は、所定の期間内に本校校長に第２次募集志願変更願（第 11 号様式）を提出し、入学志願書類の返却を受けるものとする。この場合、入学考査料と入学考査料減免申請書は返却しない。

なお、郵送による２次志願変更の受付及び入学志願書類の返却は、原則として行わない。

オ．２次志願変更をする者は、返却された第２次募集入学志願書に変更すべき事項（※印の欄）を記入し、「４　第２次募集」の「（３）出願手続」に準じて入学志願書類を所定の期間内に志願変更先高等学校長に提出すること。ただし、第２希望のみの変更については、本校校長に第２次募集志願変更願（第 11 号様式）で申し出るだけでよい。

（５）選抜の方法

ア．選抜は、学力検査成績証明書（第 14 号様式）、調査書（第４号様式）、面接等の結果を資料として行う。

イ．面接の実施

（ア）期　　日：令和７年３月２６日（水）９：４５集合、１０：００開始

（イ）集合場所：本校小会議室（管理棟 ２階）

（ウ）受検生は各中学校指定の制服を着用し、上着の左胸部に名札をつけること。

（６）合格発表

ア．令和７年３月２８日（金）午前９時に本校において発表（掲示）する。同時に本校ホームページでも掲載する。

イ．合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校等の校長を通じて合格したことを通知する。

（７）合格者オリエンテーション

合格者オリエンテーションを令和７年３月２８日（金）午前１０時から行う。対象者は合格者（第２次募集合格者）と保護者とする。

６．追検査

インフルエンザなど学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査等（以下、「本検査」という。）の全部又は一部を受けることができなかった者は、追検査を受検することができる。（本校に一般選抜受検を申し込んだ者に限る。）

（１）検査の場所　　沖縄県立小禄高等学校（本校指定の検査場）

（２）申し出等の日程及び手続

ア．申し出期間

令和７年　３月　４日（火）午前９時～午後４時

３月　５日（水）午前９時～正午

イ．追検査の対象に該当し、受検を希望する者は、申し出期間内に出身中学校等を通じて、「追検査受検希望届」（追検第１号様式）に本検査を受検できなかったことを証明する書類を添えて、提出すること。

（３）追検査の期日及び時間割等

月　日 時間	３月１０日（月）
第１時限（ 9:00～ 9:50）	国　語
第２時限（10:05～10:55）	理　科
第３時限（11:10～12:00）	英　語
（12:00～12:45）	（昼食）
第４時限（13:00～13:50）	社　会
第５時限（14:05～14:55）	数　学
第６時限（15:10～15:20）	面　　接

（４）所持品の取り扱い

「４．一般選抜」の「（６）学力検査・面接・受検の心得」に同じ。

（５）合格発表

「４．一般選抜」の「（７）合格発表」に同じ。

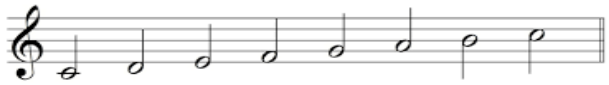
７．芸術教養コース特別枠（部活動活性化推薦）の実技審査について

芸術教養コースの特別枠（部活動活性化推薦）について、「吹奏楽」「合唱」「美術」「書道」を申請する者に対して、それぞれ以下の内容の実技審査と面接を行う。

審査内容

吹奏楽　吹奏楽（金管・木管楽器、コントラバス、マリンバ、小太鼓）

（1）次の①、②を演奏する。
① 変ロ長調（B-dur）の音階を譜例に従い演奏する。（♩＝120）
※マリンバはすべての音を、「トレモロ」で演奏すること。



※小太鼓は、下記の楽譜を演奏する。（♩＝120）

② 自分で選んだ自由曲を演奏する。（５分以内）
（2） 面接

＜注意事項＞
※演奏する自由曲の楽譜のコピーを１部、出願時に提出すること。
※無伴奏とし、必ずしも暗譜でなくてもよい。
※楽器は各自持参すること。ただしマリンバ、コントラバスは本校の楽器を使用する。
（コントラバスの「弓」、打楽器の「マレット」、「バチ」は各自持参すること）

合唱　合唱（女声、男声共通）

（1）次の①、②を演奏する。
①「夏の思い出」（江間章子作詞/中田喜直作曲）を歌う。（１番のみ）
② 自分で選んだ自由曲を演奏する。（５分以内）
（2）面接

＜注意事項＞
※演奏する自由曲の楽譜のコピーを１部、出願時に提出すること。
※必ずしも暗譜でなくてもよい。
※ＣＤ伴奏の音源使用可、ただし、ＣＤ、ＣＤデッキは各自で準備すること。

美術　鉛筆デッサン

（1）次の①、②を課題とする。
①事前課題　事前にＡ４サイズ～Ｂ４サイズ程度の画用紙に絵の具を使用して描いた風景画を一点作成し、試験当日持参すること。（絵の具は自由）
②指定課題　当日に、立方体を与えられた画用紙に鉛筆デッサンを行う。時間は３０分。
（2）面接（事前課題の説明もあります。）

＜注意事項＞
鉛筆デッサンに必要な用具一式（画用紙、画板は本校で準備）を各自持参すること。

書道　自由課題・指定課題

（1）次の①、②を課題とする。

①事前課題　事前に作品を制作し試験当日に提出する。文字・書体・大きさ等は自由。

②指定課題　当日に「九成宮醴泉銘」と「孔子廟堂碑」を半紙にそれぞれ２文字揮毫する。時間は４０分。揮毫する文字に関しては当日伝える。

（2）面接

＜注意事項＞

※当日は筆、墨、半紙を準備すること。

そのほかの道具は本校で準備するが、各自で持ち込んだ道具を使用してもよい。

実技審査内容についての問い合わせ先
小禄高等学校　担当（高校入試係）
TEL 098-857-0481
FAX 098-857-5456